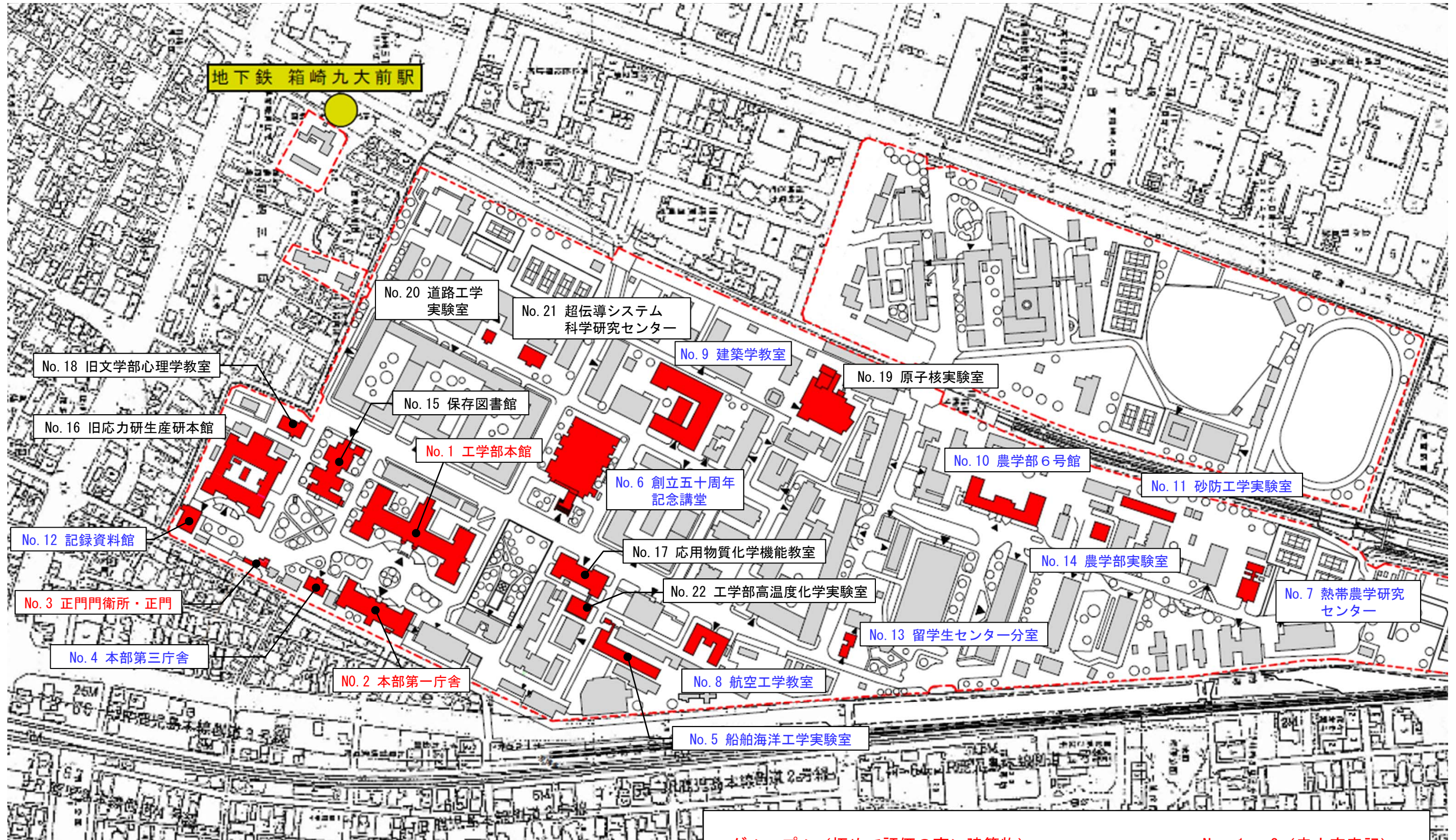


■ 箱崎キャンパス跡地の近代建築物取扱いの方向性について（案）

グループ	近代建築物例			取扱いの方向性							
<p>A</p> <p>九州大学を象徴する極めて評価の高い近代建築物</p>	<p><b>【No.1 工学部本館】</b>                      建築年：昭和5年                      構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）                      階層：地下1階付5階建                      床面積：10,324㎡</p>  <p>安全性に関する指標等</p> <table border="1" data-bbox="557 646 1012 751"> <tr> <td>指標等</td> <td>(耐震性能) Is値：0.51 [H19年度調査] (コンクリート試験) 中性化深さ：35.4mm(平均) 圧縮強度：21.3N/mm2</td> </tr> </table> <p>(再活用に関する構造的留意点等)                      鉄筋コンクリート造であるが、耐震性が不足し、構造体が劣化しているため、耐震補強改修が必要である。</p>	指標等	(耐震性能) Is値：0.51 [H19年度調査] (コンクリート試験) 中性化深さ：35.4mm(平均) 圧縮強度：21.3N/mm2	<p><b>【No.2 本部第一庁舎】</b>                      建築年：大正14年                      構造：煉瓦造</p>  <p>階層：2階建                      床面積：2,881㎡</p> <p>安全性に関する指標等</p> <table border="1" data-bbox="1068 646 1522 751"> <tr> <td>指標等</td> <td>※耐震性能について調査中</td> </tr> </table> <p>(再活用に関する構造的留意点等)                      煉瓦造であり、耐震性が危惧されるため、詳細な調査が必要である。</p>	指標等	※耐震性能について調査中	<p><b>【No.3 正門門衛所】</b>                      建築年：大正3年                      構造：煉瓦造</p>  <p>階層：平屋建                      床面積：34㎡</p> <p>安全性に関する指標等</p> <table border="1" data-bbox="1573 646 2027 751"> <tr> <td>指標等</td> <td>※耐震性能調査について検討中</td> </tr> </table> <p>(再活用に関する構造的留意点等)                      煉瓦造であり、耐震性が危惧されるため、詳細な調査が必要である。</p>	指標等	※耐震性能調査について検討中	<p>(その他の建築物等)</p> <p><b>【(工作物) 正門】</b></p> 	<p>保存・活用を前提に、運営主体を探っていく。</p>
指標等	(耐震性能) Is値：0.51 [H19年度調査] (コンクリート試験) 中性化深さ：35.4mm(平均) 圧縮強度：21.3N/mm2										
指標等	※耐震性能について調査中										
指標等	※耐震性能調査について検討中										
<p>B</p> <p>比較的評価の高い近代建築物</p>	<p><b>【No.4 本部第三庁舎】</b>                      建築年：大正14年                      構造：煉瓦造</p>  <p>階層：2階建                      床面積：788㎡</p> <p>安全性に関する指標等</p> <table border="1" data-bbox="557 1157 1012 1262"> <tr> <td>指標等</td> <td>※耐震性能について調査中</td> </tr> </table> <p>(再活用に関する構造的留意点等)                      煉瓦造であり、耐震性が危惧されるため、詳細な調査が必要である。</p>	指標等	※耐震性能について調査中	<p><b>【No.5 船舶海洋工学実験室】</b>                      建築年：大正10年                      構造：煉瓦造</p>  <p>階層：平屋建                      床面積：662㎡</p> <p>安全性に関する指標等</p> <table border="1" data-bbox="1068 1157 1522 1262"> <tr> <td>指標等</td> <td>※耐震性能調査について検討中</td> </tr> </table> <p>(再活用に関する構造的留意点等)                      煉瓦造であり、耐震性が危惧されるため、詳細な調査が必要である。</p>	指標等	※耐震性能調査について検討中	<p><b>【No.6 創立五十周年記念講堂】</b>                      建築年：昭和42年                      構造：鉄筋コンクリート造</p>  <p>階層：地下1階付4階建                      床面積：6,157㎡</p> <p>安全性に関する指標等</p> <table border="1" data-bbox="1573 1157 2027 1262"> <tr> <td>指標等</td> <td>(耐震性能) Is値：0.5 [H19年度調査] (コンクリート試験) 中性化深さ：11.4mm(平均) 圧縮強度：26.8N/mm2</td> </tr> </table> <p>(再活用に関する構造的留意点等)                      鉄筋コンクリート造であるが、耐震性が不足しているため、耐震補強改修が必要である。</p>	指標等	(耐震性能) Is値：0.5 [H19年度調査] (コンクリート試験) 中性化深さ：11.4mm(平均) 圧縮強度：26.8N/mm2	<p>(その他の建築物等)</p> <p><b>【No.7 熱帯農学研究センター】</b>  <b>【No.8 航空工学教室】</b>  <b>【No.9 建築学教室】</b>  <b>【No.10 農学部6号館】</b>  <b>【No.11 砂防工学実験室】</b>  <b>【No.12 記録資料館】</b>  <b>【No.13 留学生センター分室】</b>  <b>【No.14 農学部実験室】</b></p>	<p>安全性に係る調査を継続し、運営主体による費用対効果を考慮して、取扱いを検討する。</p>
指標等	※耐震性能について調査中										
指標等	※耐震性能調査について検討中										
指標等	(耐震性能) Is値：0.5 [H19年度調査] (コンクリート試験) 中性化深さ：11.4mm(平均) 圧縮強度：26.8N/mm2										
<p>C</p> <p>安全性に問題有り(※)と認められる近代建築物</p> <p>※コンクリート圧縮強度が13.5N/mm2以下もしくはコンクリート中性化深さ(平均)が40mm以上の建築物もしくは施設の特異性から再活用困難とされる建築物</p>	<p><b>【No.15 保存図書館】</b>                      建築年：大正14年                      構造：鉄筋コンクリート造</p>  <p>階層：4階建                      床面積：3,068㎡</p> <p>安全性に関する指標等</p> <table border="1" data-bbox="557 1696 1012 1801"> <tr> <td>指標等</td> <td>(耐震性能) Is値：0.30 [H19年度調査] (コンクリート試験) 中性化深さ：72.9mm(平均) 圧縮強度：11.1N/mm2</td> </tr> </table> <p>(再活用に関する構造的留意点等)                      鉄筋コンクリート造であるが、耐震性が不足し、構造体が著しく劣化しているため、耐震補強改修が必要である。</p>	指標等	(耐震性能) Is値：0.30 [H19年度調査] (コンクリート試験) 中性化深さ：72.9mm(平均) 圧縮強度：11.1N/mm2	<p><b>【No.16 旧応力研生産研本館】</b>                      建築年：昭和2年                      構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）</p>  <p>階層：4階建                      床面積：9,570㎡</p> <p>安全性に関する指標等</p> <table border="1" data-bbox="1068 1696 1522 1801"> <tr> <td>指標等</td> <td>(耐震性能) ※圧縮強度弱く調査対象外 (コンクリート試験) 中性化深さ：25.3mm(平均) 圧縮強度：9.5N/mm2</td> </tr> </table> <p>(再活用に関する構造的留意点等)                      鉄筋コンクリート構造物としては、老朽化が著しいため、寿命に達している。</p>	指標等	(耐震性能) ※圧縮強度弱く調査対象外 (コンクリート試験) 中性化深さ：25.3mm(平均) 圧縮強度：9.5N/mm2	<p><b>【No.17 応用物質化学機能教室】</b>                      建築年：昭和2年                      構造：鉄筋コンクリート造</p>  <p>階層：4階建                      床面積：2,782㎡</p> <p>安全性に関する指標等</p> <table border="1" data-bbox="1573 1696 2027 1801"> <tr> <td>指標等</td> <td>(耐震性能) ※実験施設のため調査対象外 (コンクリート試験) 中性化深さ：73.6mm(平均) 圧縮強度：12.4N/mm2</td> </tr> </table> <p>(再活用に関する構造的留意点等)                      鉄筋コンクリート造であるが、耐震性が不足し、構造体が著しく劣化しているため、耐震補強改修が必要である。</p>	指標等	(耐震性能) ※実験施設のため調査対象外 (コンクリート試験) 中性化深さ：73.6mm(平均) 圧縮強度：12.4N/mm2	<p>(その他の建築物等)</p> <p><b>【No.18 旧文学部心理学教室】</b>  <b>【No.19 原子核実験室】</b>  <b>【No.20 道路工学実験室】</b>  <b>【No.21 超伝導システム科学研究センター】</b>  <b>【No.22 工学部高温度化学実験室】</b></p>	<p>利活用は困難と思われることから、ファサード保存・記録保存等を含めて、取扱いを検討する。</p>
指標等	(耐震性能) Is値：0.30 [H19年度調査] (コンクリート試験) 中性化深さ：72.9mm(平均) 圧縮強度：11.1N/mm2										
指標等	(耐震性能) ※圧縮強度弱く調査対象外 (コンクリート試験) 中性化深さ：25.3mm(平均) 圧縮強度：9.5N/mm2										
指標等	(耐震性能) ※実験施設のため調査対象外 (コンクリート試験) 中性化深さ：73.6mm(平均) 圧縮強度：12.4N/mm2										

■ 箱崎キャンパス跡地の近代建築物取扱いの方向性について（案）／ 配置図



- グループA（極めて評価の高い建築物）・・・ No. 1～3（赤文字表記）
- グループB（比較的高い評価の建築物）・・・ No. 4～14（青文字表記）
- グループC（安全性に問題有りと思われる建築物）・・・ No. 15～22（黒文字表記）